

VOCALOID:03  
LUKA • MEGURINE  
FanBook  
2009 SUMMER  
YO-METDO vol.12  
**FOR ADULT ONLY**



# ~ MeguriAi ~

CHARACTER VOCALOID : 03 LUKA • MEGURINE



—ルカは  
巡音ルカは



マスターである俺の事を  
嫌ってると思っていた...

んっ...  
マスター  
まあふうふあの  
おちんぼ...  
おひんぼ...

私のお口の中で  
わはひのおふひの中  
れ  
どんどん熱く固く  
ほんほん熱く固くなっ  
て  
美味い  
おいしいれふ♡



うっ...  
そ...それは

ルカが...  
いつばい口の中で  
気持よく  
しゃぶってるからだよ...

んっ...嬉しいです...  
マスター





どうですか...マスター  
私のおっぱい...  
気持ち良いですか？

ぽ

ああ...最高だ...  
凄い弾力あって暖かで  
俺の包み込んで  
溶けちゃいそうな位  
気持ちが良い...

あ

んっ...マスター...  
マスター...♡

ん

ふ

ルカのココも...濡れてる  
...ヌルヌルに  
なってるのに  
綺麗なピンク色で  
...えろいっ

んああ♡  
そんなっ...  
駄目ですっ！

ま...マスターっ  
や...やあん♡  
ふあああっ...♡

ろ

ろ

俺が一方的に  
気持ちよくっちや駄目だろ  
お互いの事を  
深く知るのが目的  
...だろ？

そ...そうですけど...  
あっ...あっ♡

ま...ますたあ...  
やっ...ああ...♡

だめですっ汚な...  
んっ♡  
はあああっ...♡

ふあああ...  
ああ...はああ♡



感じやすくして  
綺麗だな…  
ルカのおまんこ

ま…マスター  
は…恥ずかしいです…  
そんな事は…  
んんっ!!

んああまっ♡

はあ…あああ…  
良い…  
んっ…  
きもちいいです♡

あはっ…  
マスターの舌…で  
心も身体も淫らになって…

やっ…やあああ  
…駄目…もう…  
飛んでいきそうなのお♡

不協和音のように  
相容れなかった俺たちだったが…

うっ！ルカ…  
もう…ッ！！

はいっ♡  
マスターの熱いのっ  
いっぱい出してくださっ♡

はっ♡



あああああぁっ！  
駄目だっ！  
出るッ！出るっ！  
精液でるぞっ！

おおおお  
おおおお  
おおおお

あああん♥  
マスターのオチンポからっ！  
熱いのがびゅびゅって出てるっ♥

せーえきい！  
いっぱい出てるっのお♥♥

ああ・・・ふああ・・・  
一緒にイケて嬉しいです・・・  
ますたあ・・・♥

ますたあ・・・  
大好きですっ・・・♥

何故このような事に  
なったのか・・・



つい1ヶ月位  
前の出来事である

俺 琴山瞬は  
ソングライターだー



…もういい…ルカ  
そこで歌うのを  
止めて  
そこから出ろっ

えっ…



自分の理想の描く  
歌声で曲を歌ってくれる  
ボーカロイド  
巡音ルカを買ったのは良いが…



…申し訳御座いません  
マスター…



謝る位ならちやんと  
指示通りに歌えよっ！  
なあ？

マスターである  
俺の言う事聞けないのかよ？

俺は…冷淡でしか  
歌わないルカに  
イライラしていた…

…いえ  
私の力不足で  
…申し訳  
御座いません…

そう何度も言う割には  
反省の色見えないんだけどね！  
…何で  
俺が与えた楽曲…  
全部淡々と歌ってるんだよ…

傍から見れば巧いがな、  
この楽曲に秘めた思いを  
お前は全然  
歌えて無んだよ！

初音ミク見たく  
もう少し気持ち込めて  
歌えないんかね…

…他のボーカロイドと違って  
お前つき  
マジでロボットっぽいよな…  
ただ指示に従ってばかりで  
人の想いや気持ちなんて  
読み取れないんだらうよ。

…巡音ルカ自体性能は  
どのボーカロイドよりも  
高いと聞いていたのだが…  
とんだ誤算だったと俺は思った…

…そう俺は…  
それから事あるごとに  
ルカに当たっていた…



正直それに耐えてる  
ルカを見ていて  
心が痛かった...

あれから  
どうすれば良いか  
判らない俺は

...とまあ...そんな訳で  
俺どうすれば良いか  
判らないんだわ...

ミクで楽曲作って  
歌わせてるお前は  
コレどう思うか...?

初音ミクで  
歌を作っている友人に  
電話を掛けた

あのなあ...そりゃ  
お前が一方的過ぎだぜ  
ボーカロイドの事を  
何も判ってない  
お前が悪いっ!

そ...  
そうなのか

巡音ルカ:  
もといボーカロイドを  
道具として見てる時点で  
駄目だな

あ...

...ん?  
どうした?

いや...悪いっ  
...お前の言う通りだわ

...まあ  
オレだってミクを  
最初に歌わせた時は  
お前みたく  
巧く行かなかったさ

えっ?  
お前もなのか?

でもミクはよ...  
歌を諦めずに  
影ですつと努力したんだぜ

オレたち人間みたいな  
努力をな...



オレもそんなミクを見て  
お互いを理解し始めて行った...

それから ミクは  
オレが曲に込めた  
秘めた気持ちや想いを  
歌声に込められるよう  
になったんだ



そしてその歌は次第に広まり  
文字通り 聞いてくれる  
沢山の人の心の中に  
溶け込んで(メルト)  
行く事が出来たんだぜ



お前自身で確かめて  
見たらどうだ?  
ルカの表面ばかりでなく  
...心の中をさ...

ルカも同じ  
ボーカロイドだ!  
歌う情熱や想いは  
ミクと同じくらい  
強いと思うし  
影で沢山  
お前のために努力だって  
してるだろうぜ?

心の中  
か

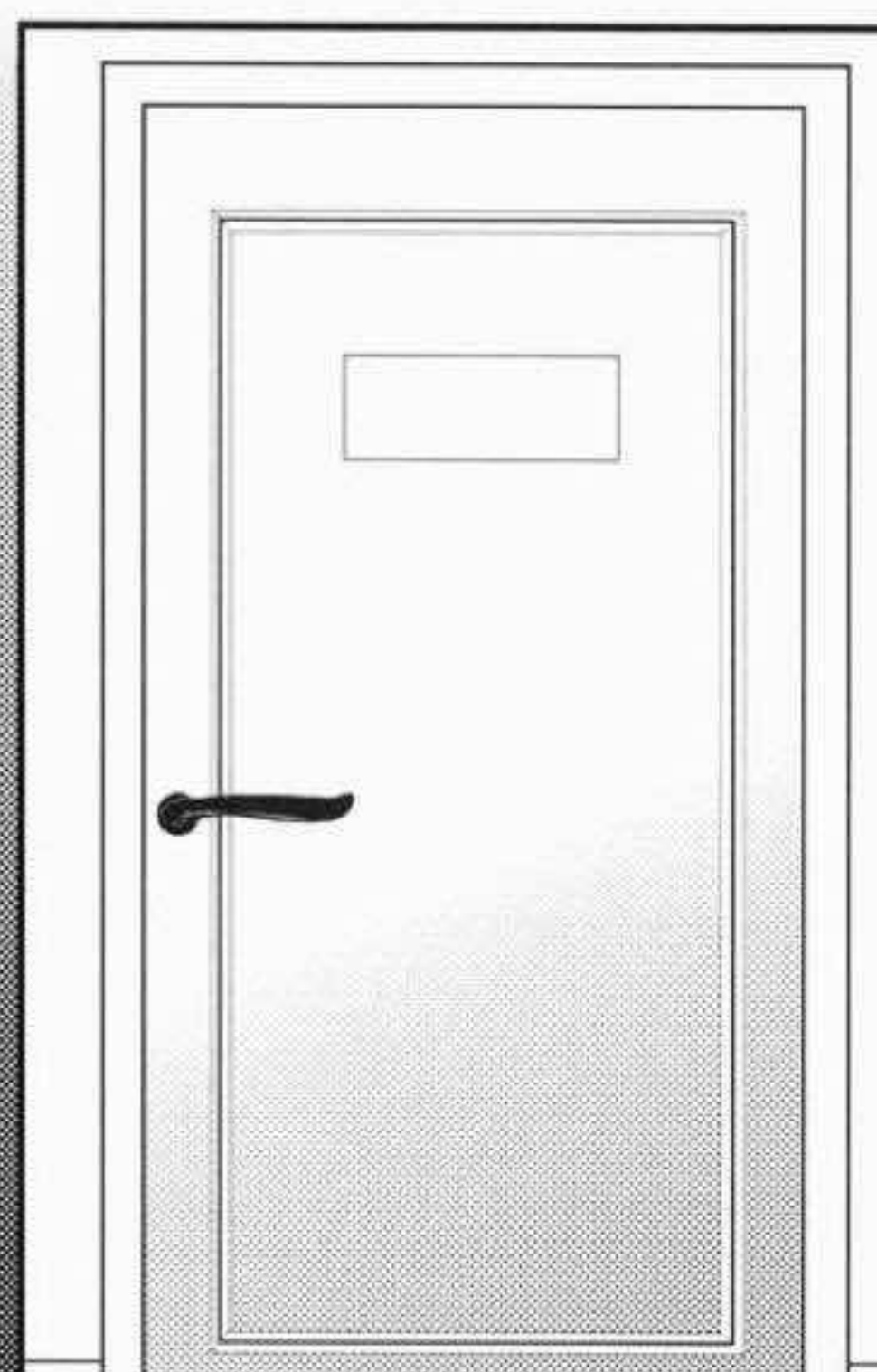


あんな...ルカ  
お前に話が...



ルカ...  
いるのか?

...すまないが  
ちよつと入るぞ...







そんなっ…  
あの…すいません  
まだ着替えてて



なッ!!



ルカ:  
お前に大事な話がある  
聞いてくれ



いえっ!あの…マスター!  
もう着替え終わりますので  
大丈夫ですから!  
そのまま待って下さいっ…

わッ!?  
悪いルカっ!  
着替え中だったなんて  
すまないっ  
出直…

え?...  
ああ...







そう言うルカは俺の作った歌の感想を沢山語ってくれた...

ルカから出た言葉は俺や曲に不満ではなく嘘偽りの無い嬉しい評価の言葉ばかりだった...

そればかりかこの曲が好きでない判らない秘めたメッセーを恥じらいながらもルカは歌声を持って懸命に語ってくれた



ルカ...お前...いつのまに...



なんて事だ...

...ちゃんと理解してたのか...俺が伝えたかった曲のメッセーを...

その時初めて自分の間違いに気が付いた



...悪いルカ...お前の理解全然足りて無かったわ...

ルカは...自分を表に出すのがまだ苦手なだけだったのだ言うならば...調教(レッスン)不足だ

そうだよ...俺からルカを理解して導かないでどうやって上手く歌えるようにするんだよ一方的に叱ってばかりで馬鹿か...俺は...

酷い事ばかり言っすまない...俺は...マスター失格だな...





いえ！違います！  
私がまだまだ努力不足で  
期待に応えなかったのが  
いけないからです…

私  
は  
ッ

私は…マスターが  
作る暖かな曲も…

マスターの事も…  
大好きなんです…

…だから…だから…っ  
マスターの期待に  
応えるように頑張りますから…

お願いします…  
どうか私の事を…  
…嫌いに…





ば・・・バカかつ！  
お前は！  
お前が嫌いだなんて  
何時言ったよっ！

えっ・・・ほ・・・本当ですか・・・？  
私・・・ずっと  
マスターに  
嫌われてばかりだと・・・

確かにお前には  
叱つてばかりだったかな・・・  
お前を想つてなきや  
こんな事は・・・

・・・オレの方だって・・・  
好きさ・・・  
お前の事は・・・

マスター・・・

んっ・・・  
ふう・・・

んっ・・・んあ  
はあ・・・  
ますたあ・・・

あの・・・な・・・  
ルカ・・・  
俺に提案が  
あるんだけど・・・

はっ・・・はい・・・  
マスター・・・

お互いの理解を深める  
良い方法があるんだが・・・  
正直・・・お前には  
不快に思うかも知れん・・・



いえ...お願いします  
マスター  
私も...マスターの事  
もつと知りたいです...

ルカ...

マスター...  
このまま...  
ベットに...

んんん

今度はマスターが...  
御好きな様に  
私をどうか  
可愛がってください...♡

そして...  
今に至る...

んんん

んんん

んあ...  
はあ...ああっ♡

んんん

んんん...  
んっ...んんっ♡んっ...いえ...  
マスターから  
叱られるのには  
キツくは  
ありませんでした...

...いつも辛く  
叱ってばかりで  
...ルカ...  
きつかったらろ?

んんん

ただ...

...ただ?



尊敬するミク姉様と  
比べられるのは…  
どうしても…辛かったです…

私は…要らない  
ボーカロイドなんだと  
ばかりに…

ルカっ…

ルカっ！  
俺はっ…！！

えっ！！  
マスター…？

ごめんな…ルカ…  
誰かと比べたって  
しょうがないよな…

俺…またお前の為に  
曲を作るから…  
また…歌ってくれないか？

ああ…マスター…  
好きです♡  
マスター…  
大好きです♡

ああ…  
ルカもだ

あ…あの…  
それじゃ…  
ひとつだけ…  
私の願…  
い…ですか？

え？ああ…  
言っ…

私…巡音ルカは…  
もっとマスターと  
心も身体も  
ひとつになりたいです…  
だから…



お願いします…  
私のいやらしいコト…♥

マスターの…  
大好きなマスターの  
オチンチンを…  
下さい♥

ああ…ルカ…行くぞ…

来て…ください…  
んんっ!!

んああ!!  
…痛っ…あああ



はあ…あああ♥  
今…私…マスターと…  
繋がってるっ…♥

大好きなマスターと…  
ひとつになつて  
なってるんですね…♥  
何て暖かで不思議で…  
ああ…マスターあ…♥



だ…大丈夫か？  
ルカ

は…はいっ…平気です…  
動いても…平気ですから…  
私のおまんこで…  
気持良く…  
なつて下さい…っ♥

うっ…？…  
凄い締め付け…  
なのに柔らかで…  
チンポに絡み付いてくるっ…!



あぐ…んあ…  
はあはあ…♥  
ま…マスターあ…  
ますたあ…♥

ん♡

ん♡



あッ  
いいですっ  
ますたあー♡

ますたあ…  
ますたあ…っ♡  
んツ♡  
気持ちいいです！

ますたあが…んっ♡  
私の中で…!!  
びくびくっつて  
大きく動くのが  
わかりますっ!♡

うああ…!!  
腰が止まらないッ!!  
す…すぐに出そう…  
くっ!

なんていやらしくて  
可愛い声だすんだ  
ルカ…  
全く…  
お仕置が必要だな…っ

んっ!んふう!♡  
ご…ごめんなさい…♡  
ますたあ…♡♡♡

んっ♡

んっ♡



ルカ…ルカっ！

アッ♡

あんっ…申し訳御座いません♡  
マスタあー…の…  
マスタあーの  
おつきなおちんぽでえ…♡

る…ルカは…  
マスターにどんどん  
Hにさせられてますっ♡

アッ♡

アッ♡

んっ…ます…たああ♡  
んう…ふうん♡  
ますたああああ♡

まったくどうしようもない  
ポーカーリストだ…  
こんなにもいやらしい身体で  
Hな声を出して…

好きだよルカ

ルカはもう淫らな声で  
こんなにいやらしく  
鳴いちやうんですっ♡

はひいいい♡

ますたあ…♡

うっ…また…任ぞつた…



は…は…はっ！  
腔内て…  
腔内て…はっばい！  
はっばい！  
出してくださるっ  
♡♡♡

大好きなマスターの  
おちんぼ汁♡  
熱いのでっばい♡  
欲しいですっばい♡

うっく！反則だぞっ！  
そ…そんな顔で  
求められたら…  
だ…だめだっ！  
もう！

んあ♡  
はあ♡

んああ！  
る…ルカも…ルカも…  
もうイツちやいます！♡

♡♡  
マスターあ…おちんぼで  
一緒にイツちやいますう



ルカあああ！出るっ！

きてますう！  
ますたあの精液い♡  
膣内にびゆくびゆく  
でてるう♡

♡ひぐっ  
!!

ああ！またイクっ♡！  
ますたあの 熱い精液で  
ルカ イッ……く……イクう♡♡

んはああ  
あああっ♡♡♡











…また…明日から  
宜しく頼むな ルカ

CHU!

はい…っ♡  
マスター…♡

ルカの方も自分を  
表に出せるようになり  
あどけない一面や  
可愛い一面を  
俺に見せて  
くれるようになった



あの出来事から  
俺たちはお互いを  
判る様になり  
レッスンも上手く  
行くようになった



この後ですけど…  
良かったら  
夜のレッスンの方も  
お願い出来ますか…♡?



あはは…ははは…

…今日も俺は  
ルカの夜のレッスンに  
断れそうにない

ただ…ここで一つ問題が

あの…マスター

ん？なんだ？  
もう今日のレッスンは…





■はい！そんな訳でどうも皆さま  
お久しぶりです！初めましての方は初めまして！  
ヤサカニ・アンで御座います。

この度はお買い上げ有難う御座います。  
今回はウチの方でも珍しくボカロ系で巡音ルカ…  
もといルカ姉のオリジナルエロ漫画を描きましたが  
如何でしたでしょうか？

初音ミクが出た時から、ボカロ系で漫画描きたいなと思ってたんですが  
その想いがそのままルカ姉に引き継がれて、この漫画が産まれました。  
ルカ姉可愛いですよ！wカッコ良い美人系だけど、  
3人目のボーカロイドって事(つまり末女ポジション)や  
おっぱいや可愛らしさも合わさり最強に見えます！(爆)  
最初イラストできつい、冷たいってイメージがあったのですが  
『たこルカ』の脱力ながら愛らしいイメージや  
『ダブルリアット』・『紅一葉』等の素晴らしい曲で  
キャラのイメージが広がった感じがあります。  
また機会が合ったらボカロ系で漫画描きたいですねw

■今回はコミックスタジオ初挑戦で  
色々試行錯誤しながら全て仕上げたので、  
作業効率覚えるまで非常に大変でしたorz  
印刷所様にはご迷惑を掛けます。

次回は『FF5』本になると思いますので  
また妖滅堂をどうぞ宜しくお願い致します。  
それでは～！

奥付

発行元 妖滅堂  
作 者 ヤサカニ・アン  
印刷所 B.H.Press  
発行日 2009年8月16日



今回の作品はモバイルサイト  
(d-boxcomic.com)で  
近日中に配信されます。



VOCALOID:03  
LUKA • MEGURINE  
FanBook  
2009 SUMMER

**FOR ADULT ONLY**

~ MeguriA ~

CHARACTER VOCALOID : 03 LUKA • MEGURINE